

# 在宅人工呼吸器療養者の災害時支援対策研修会

人工呼吸器等医療的ケアを必要とする患者は、災害時や緊急時にライフラインが途絶えることにより生命の危機に脅かされるおそれがあり、平常時から災害時の備えをすることが必要で、関係機関が連携し災害時個別支援計画の策定や移動時の支援者の確保、災害時の避難場所・経路の確保などについて支援していく必要があります。

昨年度に引き続き、災害時支援対策をテーマとして取り上げ、在宅療養を支援する関係者が、人工呼吸器療養者の災害への備えや平常時に求められる役割について学び、災害対策への取組みやその見直しの機会となるよう研修会を開催します。今年度は、災害時個別支援計画の策定に向けた課題を議論するグループワークを実施します(昨年度の参加を前提としたものではありませんので積極的なご参加をお待ちしております)。

- 1 主催 和歌山神経難病医療ネットワーク連絡協議会
- 2 日時 平成29年1月25日(水) 13時30分から16時
- 3 場所 和歌山県立医科大学 生涯研修センター(図書館棟3階、別添参照)  
和歌山市紀三井寺811-1
- 4 対象者 市町村、保健、医療、福祉等の関係者
- 5 内容
  - ◇ 13:30~14:15  
講 演「在宅人工呼吸器使用患者の災害時個別支援対策  
-神経難病患者の特性を理解して-」  
講 師  
和歌山県立医科大学神経内科学 准教授 村田 顕也 氏
  - ◇ 14:15~14:35  
発 表「災害時個別支援計画作成における現状と課題(事例報告)」  
和歌山市 保健対策課
  - ◇ 14:35~15:45  
災害時個別支援計画の策定をテーマとしたグループワーク
  - ◇ 15:40~16:00 講評・総括

※上記内容は予定であり、今後内容を変更する場合があります。